

保険診療での不妊治療について（2022年4月1日以降開始）

保険適用費用（患者様負担額：3割）

2022年4月より不妊治療の保険診療が開始されました。費用に関しましては下記の通りになります。保険適用には年齢に応じた移植の回数制限があります。

希望される治療方法によっては保険適用にならない場合もございますので、ご注意ください。

■ タイミング療法・人工授精

一般不妊治療加算	750 円	3 か月に 1 回
人工授精	5,460 円	時間外、日曜祝日に実施した場合 選定療養費として 11,000 円(税込)が 加算されます。

上記の費用以外に下記の費用がかかります。（目安です）

排卵誘発剤（実費、保険適用）	約 1,000～10,000 円
超音波検査、ホルモン検査（保険適用）	1 回約 1,800～4,000 円（1 周期 3 回程度）

■ 男性不妊の手術（精巣内精子採取術）

1 単純なもの	37,200 円	※入院費や麻酔の費用は別途かかります。 合計 10 万円～15 万円ほどになります。
2 顕微鏡を用いたもの	73,800 円	

■ 高度生殖補助医療（採卵、体外受精、顕微授精）（表記は 3 割負担の金額です）

生殖補助医療管理料	900 円	体外受精周期毎
採卵時 預かり金	100,000 円	採卵当日預り金をさせていただきます。 清算は移植時、全胚凍結説明時、治療中止時に返金もしくは追加で支払いが必要になる場合もあります。
採卵基本料	9,600 円	※採卵した個数によって費用が決定 ※麻酔の費用は別途かかります。（保険）
採卵数 1 個	7,200 円(合計 16,800 円)	
採卵数 2～5 個	10,800 円(合計 20,400 円)	
採卵数 6～9 個	16,500 円(合計 26,100 円)	
採卵数 10 個以上	21,600 円(合計 31,200 円)	



受精法		個数にかかわらず一律 ※手術で採取した凍結精子使用の 場合は 15,000 円加算されます
体外受精(IVF)	12,600 円	
顕微授精(ICSI)		顕微授精の加算費用 ()内は、顕微授精をする個数 ※手術で採取した凍結精子使用の 場合は 15,000 円加算されます
顕微授精 (1 個)	14,400 円	
顕微授精 (2~5 個)	20,400 円	
顕微授精 (6~9 個)	30,000 円	
顕微授精 (10 個以上)	38,400 円	
体外受精・顕微授精 両方実施した場合	顕微授精代+体外受精費用 の半分(6,300 円)	
受精卵培養		採卵翌日から受精した個数ごとに算定
培養個数 1 個	13,500 円	
培養個数 2~5 個	18,000 円	
培養個数 6~9 個	25,200 円	
培養個数 10 個以上	31,500 円	
胚盤胞加算(胚盤胞培養個数)		上段の受精卵培養個数と同じ数 となります。
1 個	4,500 円	
2~5 個	6,000 円	
6~9 個	7,500 円	
10 個以上	9,000 円	
胚移植		
新鮮胚移植	22,500 円	採卵と同じ周期に移植する方法
凍結胚移植	36,000 円	凍結していた胚を融解して移植する方法
時間外に胚移植を実施した場合、選定療養費として 27,500 円(税込)が加算されます。		
アシステッドハッチング加算	3,000 円	移植時に施行した場合に移植費用に 加算されます
高濃度ヒアルロン酸含有 培養液加算	3,000 円	
胚凍結保存		
凍結個数 1 個	15,000 円	胚凍結保存期限更新も保険診療で可能 ですが、ご夫婦での来院と治療計画の 作成が必要になります。来院ができない 場合には保存期限の更新は自費診療と なります。保険での更新の場合、10,500 円(3割負担)となります。
凍結個数 2~5 個	21,000 円	
凍結個数 6~9 個	30,600 円	
凍結個数 10 個以上	39,000 円	

上記の費用以外に下記の費用がかかります。(目安です)

排卵誘発剤(実費、保険適用)

約 10,000~20,000 円

超音波検査、ホルモン検査(保険適用)

1 回約 1,800~4,000 円(1 周期 3 回程度)